

小・中・高等学校を通じて一貫した目標設定の在り方について

※CEFRとは、シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集のために、透明性が高く分かりやすく参照できるものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会(Council of Europe)が発表。

英語教育の抜本的強化のイメージ (秋以降、専門的に検討予定)

※具体的な小学校の授業時数については、年内~年明けを目途に教育課程全体の構成とともに検討を進め、一定の方向性を提示

新たな英語教育

大学や海外、社会で英語力を伸ばす基盤を確実に育成

成熟社会にふさわしい我が国の価値を海外展開したり、厳しい交渉を勝ち抜く人材の育成

高校卒業レベルで3000語

高で1800語

中で1200語

現状

【高等学校】

○目標:コミュニケーション能力を養う
○授業は英語で行うことが基本
国の目標(英検準2~2級程度等50%)
→現状32%
・生徒の学習意欲、「書く」「話す」に課題
・言語活動が十分でない

【中学校】

教科型を通じた4技能の総合的育成
○目標:コミュニケーション能力の基礎を養う
○前回改訂で週3→週4に増
国の目標(英検3級程度等50%)→現状35%
・言語活動が十分でない

活動型 【小学校高学年】 **年間35単位時間**
○目標:「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション能力の素地を養う
○学級担任を中心に指導
外国語活動が成果を上げ、児童の「読む」「書く」も含めた系統的な学習への知的欲求が高まっている状況

年間35単位時間(週1コマ程度)

【高等学校】

目標例:例えば、ある程度の長さの新聞記事を速読して必要な情報を取り出したり、社会的な問題や時事問題など幅広い話題について課題研究したことを発表・議論したりすることができるようにする
○授業を英語で行うことを基本とするとともに、①4技能を総合的に扱う言語活動、②特に、課題がある「話すこと」、「書くこと」において発信力を強化する言語活動を充実(発表、討論・議論、交渉等)

【中学校】

目標例:例えば、短い新聞記事を読んだり、テレビのニュースを見たりして、その概要を伝えることができるようにする
○身近な話題について理解や表現、情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う対話的な言語活動を重視した授業を英語で行うことを基本とする

年間140単位時間

教科型

【小学校高学年】

目標例:例えば、馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、家族、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりできるようにする
○「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」の育成も含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。
○学級担任が専門性を高め指導、併せて専科指導を行う教員を活用、ALT等を一層積極的に活用

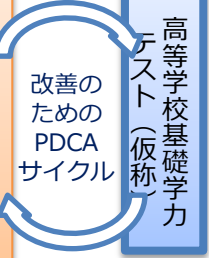
年間70単位時間 ※

活動型

【小学校中学年】

○目標:「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション能力の素地を養う
○主に学級担任がALT等を一層積極的に活用したT・Tを中心とした指導

年間35単位時間 ※



小・中・高を通じた目標及び内容の主なイメージ(「英語教育の在り方に関する有識者会議」報告 抜粋) 下線は、現行と異なる部分

	小学校高学年		中学校	
教科等の目標	<p>外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、<u>身近で簡単なことについて外国語の基本的な表現に関わって聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。</u></p> <p><ポイント> ・身近で簡単なこと ・コミュニケーション能力の基礎</p>		<p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を<u>図るとともに、身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。</u></p> <p><ポイント> ・身近な話題 ・理解、表現、情報交換できるコミュニケーション能力</p>	
英語等の目標	<p><英語> <u>(1)身近で簡単なことについて話される初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。</u> <u>(2)身近で簡単なことについて、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。</u> <u>(3)アルファベットや単語に慣れ親しみ、英語を読むことに対する興味を育てる。</u> <u>(4)アルファベットを書くことに慣れ親しみ、英語を書くことに対する興味を育てる。</u></p> <p><ポイント> ・身近で簡単なこと ・初歩的な英語</p>		<p><英語> ○<u>身近な話題について話される英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。</u> ○<u>身近な話題について、英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。</u> ○<u>身近な話題について書かれた英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。</u> ○<u>身近な話題について、英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。</u></p> <p><ポイント> ・身近な話題 ・自分の考えなどの表現 ・相手の意向などの理解</p>	
指標形式の目標	<p>「話すこと」(発表) Spoken Production 【SP】 【SP1】自分の考えや気持ち、事実などを、聞き手を意識しながら初歩的な英語で伝えることができるようにする。 【SP2】与えられたテーマについて初歩的な英語で簡単なスピーチをすることができるようにする。</p>	<p>「話すこと」(やりとり) Spoken Interaction 【SI】 ○聞いたことに相づちをうったり、感想を言ったりすることができるようにする。</p>	<p>「話すこと」(発表) Spoken Production 【SP】 【SP1】自分の考えや気持ち、事実などを、聞き手を意識しながら英語で伝えることができるようにする。 【SP2】自分の意見や主張を基に、与えられたテーマについて短いスピーチをすることができるようにする。</p>	<p>「話すこと」(やりとり) Spoken Interaction 【SI】 ○聞いたり読んだりしたことなどについてほかの人と話し合い、理解したことを確認したり、意見を伝え合ったりすることができるようにする。</p>
	<p><ポイント> ・相手を意識 ・初歩的な英語</p>		<p><ポイント> ・「発表」:小学校からの接続 ・「やりとり」:話し合いと伝え合い</p>	

次期学習指導要領「外国語」における国の指標形式の主な目標（イメージ）案（秋以降、専門的に検討予定）

※教育課程企画特別部会
論点整理補足資料

- 国の目標では、小・中・高等学校の学びを円滑に接続させる、②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標（指標形式の目標を含む）を示す。
- 学校では、英語を使って何ができるようになるかという観点からCAN-DO形式の学習到達目標を設定し、それに基づく指導と学習評価（筆記テストのみならず、スピーチ、インタビューテスト、エッセー等のパフォーマンス評価、観察等）

※CEFRとは、シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集のために、透明性が高く分かりやすく参照できるものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表。

校種	科目（イメージ）	CEF R レベル	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
高等学校	<p>4技能総合型 複数の技能を統合させた言語活動が中心</p> <p>（選択科目・必修科目を履修させた内容）</p> <p>発信能力向上のための言語活動（スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション等）が中心</p> <p>（選択科目）</p>	B1	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりはっきりと、馴染みのある発音で話されれば、身近な話題に関する比較的長い会話や身近な事柄に関する説明の概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題に関する比較的短い記事、レポート、資料の概要や要点を理解し、必要な情報を読み取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題や知識のある話題について、平易な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 時事問題や社会問題について、具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関心のある分野の話題について、つながりのある文章で具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて書くことができるようにする。
		A2	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりはっきりと、馴染みのある発音で話されれば、身近な話題に関する短い会話や身近な事柄に関する短い説明の概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明を読み、概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関する事柄や個人的な関心事（趣味、学校など）について、ある程度準備をすれば会話に参加することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題について、簡単な語句や文を用いて、自分の意見やその理由を短く述べるができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事柄（自分、学校、地域など）について、簡単な語句や文を用いて、短い説明文を書くことができるようにする。
		A1	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりはっきりと、馴染みのある発音で話されれば、身の回りの事柄（自分、学校、地域など）に関するごく短い会話や説明を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある話題に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読み、イラストや写真を参考にしながら、概要を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ごく身近な話題であれば、基本的な表現を用いて簡単な質疑応答をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題について、発表内容を準備した上で、簡単な語句を用いて複数の文で意見を述べるができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に関するごく限られた情報（名前、年齢、趣味、好き嫌いなど）を、簡単な語句や文で書くことができるようにする。
		(Pre-A1)	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりとはっきりと、繰り返し話されれば、 短い簡単な指示や挨拶を理解することができるようにする。 身近で具体的な事物を表す単語を聞き取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近で具体的な事物を表す単語の意味を理解することができるようにする。 アルファベットを見て識別し、発音できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手のサポートがあれば、個人的な関心事（趣味、学校など）についての質問に答えることができるようにする。 日常の挨拶をしたり、挨拶に应答したりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に関するごく限られた情報（名前、年齢、好き嫌いなど）を、簡単な語句を用いて伝えることができるようにする。 定型表現を用いて、簡単な挨拶ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 例文を参考にしながら、慣れ親しんだ語句や文を書くことができるようにする。 アルファベットの大文字と小文字をブロック体で書くことができるようにする。
中学校	<p>中学校での学習内容の活用を通じた定着を含む</p> <p>英語</p> <p>小学校での学習内容の活用を通じた定着を含む</p>	英語	A1	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある話題に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読み、イラストや写真を参考にしながら、概要を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ごく身近な話題であれば、基本的な表現を用いて簡単な質疑応答をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題について、発表内容を準備した上で、簡単な語句を用いて複数の文で意見を述べるができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に関するごく限られた情報（名前、年齢、趣味、好き嫌いなど）を、簡単な語句や文で書くことができるようにする。
	<p>英語（教科型） 4技能 （聞く、話す、読む、書く）</p> <p>慣れ親しみから「気付き」へ</p> <p>英語（活動型） 2技能 （聞く、話す）</p>						
小学校	<p>英語（活動型） 2技能 （聞く、話す）</p>	(Pre-A1)	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりとはっきりと、繰り返し話されれば、 短い簡単な指示や挨拶を理解することができるようにする。 身近で具体的な事物を表す単語を聞き取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近で具体的な事物を表す単語の意味を理解することができるようにする。 アルファベットを見て識別し、発音できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手のサポートがあれば、個人的な関心事（趣味、学校など）についての質問に答えることができるようにする。 日常の挨拶をしたり、挨拶に应答したりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に関するごく限られた情報（名前、年齢、好き嫌いなど）を、簡単な語句を用いて伝えることができるようにする。 定型表現を用いて、簡単な挨拶ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 例文を参考にしながら、慣れ親しんだ語句や文を書くことができるようにする。 アルファベットの大文字と小文字をブロック体で書くことができるようにする。

複数の技能を統合的に扱う言語活動を通して求められる英語力を身に付ける

小・中・高を通じた目標及び内容の主なイメージ（英語教育の在り方に関する有識者会議報告書別添資料 平成26年9月）

		小学校		中学校		高等学校			
		中学年	高学年	中学校		高等学校			
教科等の目標	改善例	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声等に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。 ＜ポイント＞ ・言語や文化についての体験的理解 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 ・コミュニケーション能力の素地	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、身近で簡単なことについて外国語の基本的な表現に関わって聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ＜ポイント＞ ・身近で簡単なこと ・コミュニケーション能力の基礎	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。 ＜ポイント＞ ・身近な話題 ・理解、表現、情報交換できるコミュニケーション能力	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 ＜ポイント＞ ・言語や文化についての理解 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 ・幅広い話題 ・情報や考えなどを的確に理解し適切に伝えるコミュニケーション能力				
	現行		外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。		外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。			
1 目標	改善例	＜英語＞ (1)身近で簡単なことについて話される初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 (2)身近で簡単なことについて、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 (3)アルファベットや単語に慣れ親しみ、英語を読むことに対する興味を育てる。 (4)アルファベットを書くことに慣れ親しみ、英語を書くことに対する興味を育てる。 ＜ポイント＞ ・身近で簡単なこと ・初歩的な英語		＜英語＞ ○身近な話題について話される英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 ○身近な話題について、英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 ○身近な話題について書かれた英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 ○身近な話題について、英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。 ＜ポイント＞ ・身近な話題 ・自分の考えなどの表現 ・相手の意向などの理解		各科目において、英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、科目ごとに養うコミュニケーション能力を設定する。 ＜基礎科目（選択科目）＞ ○身近な話題について、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことができるようにする。 ＜必修科目＞ ○日常的话题や自分の関心のある分野について、情報や考えなどを、的確に理解したり英語話者が理解できる程度の英語を用いて適切に伝えたりすることができるようにする。 ＜選択科目＞ ○時事的话题や社会問題などについて、情報や考えなどを、的確に理解したり英語話者が理解できる程度の英語を用いてある程度流暢に伝えたりすることができるようにする。 ○時事的话题や社会問題などについて、情報や考えなどを、的確に理解したり英語話者が理解できる程度の英語を用いてある程度流暢に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。 ○日常的话题や自分の関心のある分野について、スピーチやプレゼンテーション等の場面において、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができるようにする。 ○時事的话题や社会問題などについて、ディベートやディスカッション等の場面において、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができるようにする。 ○海外での生活に必要な基本的な表現を使って、幅広い話題について会話することができるようにする。 ＜ポイント＞ ・身近な話題（基礎科目）⇒ 日常的话题や関心のある分野（必修科目）⇒ 時事的话题や社会問題など（選択科目） ・4技能の基礎的な能力（基礎科目）⇒ 的確に理解し、適切に伝える能力（必修科目及び選択科目） ・英語話者が理解できる程度の英語（必修科目）⇒ 英語話者が理解できる程度の英語＋ある程度の流暢さ（選択科目） ・情報や考えなどのやりとり：スピーチやプレゼンテーション等 ⇒ ディベートやディスカッション等			
		4 技能に係る目標（例）（話す）＜イメージ案＞							
			「話すこと」(発表) Spoken Production 【SP】 【SP1】自分の考えや気持ち、事実などを、聞き手を意識しながら初歩的な英語で伝えることができるようにする。 【SP2】与えられたテーマについて初歩的な英語で簡単なスピーチをすることができるようにする。 ＜ポイント＞ ・相手意識 ・初歩的な英語	「話すこと」(やりとり) Spoken Interaction 【SI】 ○聞いたことに相づちをうったり、感想を言ったりすることができるようにする。	「話すこと」(発表) Spoken Production 【SP】 【SP1】自分の考えや気持ち、事実などを、聞き手を意識しながら英語で伝えることができるようにする。 【SP2】自分の意見や主張を基に、与えられたテーマについて短いスピーチをすることができるようにする。	「話すこと」(やりとり) Spoken Interaction 【SI】 ○聞いたり読んだりしたことなどについてほかの人と話し合い、理解したことを確認したり、意見を伝え合ったりすることができるようにする。	「話すこと」(発表) Spoken Production 【SP】 ○＜必修科目＞ 日常的话题や自分の関心のある分野について、英語話者が理解できる程度の英語を用いて、 【SP1】情報や考えなどを適切に伝えることができるようにする。 【SP2】要点を整理し、関連情報や具体例などを付け加えながら、まとまった内容のスピーチをすることができるようにする。 【SP3】要点を整理し、関連情報や具体例などを付け加えながら、まとまった内容のプレゼンテーションをすることができるようにする。 ○＜選択科目＞ 抽象的な内容を含む幅広い話題について、英語話者が理解できる程度の英語を用いてある程度流暢に、 【SP4】情報や考えなどを適切に発表することができるようにする。 【SP5】要点を整理し、関連情報や具体例などを付け加えながら、論理的な構成のスピーチをすることができるようにする。 【SP6】要点を整理し、関連情報や具体例などを付け加えながら論理的な構成のプレゼンテーションをすることができるようにする。	「話すこと」(やりとり) Spoken Interaction 【SI】 ○＜必修科目＞ 日常的话题や自分の関心のある分野について、英語話者が理解できる程度の英語を用いて、 【SI1】情報や考えなどを伝え合ったり相手の発話に適切に反応することができるようにする。 【SI2】簡単なディベートをすることができるようにする。 【SI3】簡単なディスカッションをすることができるようにする。 ○＜選択科目＞ 抽象的な内容を含む幅広い話題について、英語話者が理解できる程度の英語を用いてある程度流暢に、 【SI4】情報や考えなどを伝え合ったり相手の発話に適切に反応することができるようにする。 【SI5】ディベートをすることができるようにする。 【SI6】問題解決型のディスカッションをすることができるようにする。	
					＜ポイント＞ ・「発表」：小学校からの接続 ・「やりとり」：話し合いと伝え合い		＜ポイント＞ ・伝える ⇒ スピーチをする ⇒ プレゼンテーションをする ・伝え合う／相手の発話に反応する ⇒ ディベートをする ⇒ ディスカッションをする		
	現行			(1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 (4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。		＜「コミュニケーション英語Ⅰ」(必修科目)＞ 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。			

小・中・高を通じた目標及び内容の主なイメージ（英語教育の在り方に関する有識者会議報告書別添資料 平成26年9月）

		小学校		中学校		高等学校	
		中学年	高学年	中学校		高等学校	
2 内容	改善例	<p>○現行の小学校高学年の学習内容を児童の発達段階に応じて実施</p> <p>1.外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、指導する。</p> <p>2.日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、指導する。</p> <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 言語や文化についての体験的理解 	<p>○言語活動</p> <p>英語を理解し、英語で表現する能力を養うため、次の言語活動を2学年間を通して行わせる。</p> <p>「聞く」「話す」については、</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な英語の音声に慣れ、身の回りの話いや場面の中での表現を聞き取り、状況から判断して適切に応じること。自分の考えや気持ちなどを英語やジェスチャーを使って、聞き手がわかるように話すこと。 「読む」「書く」については、 文字や符号を識別し、正しく読むこと 単語を識別すること 文字を識別し、正しく書くこと 単語を識別し、正しく書き写すこと <p>○言語活動の取扱い</p> <p>(1)2学年を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <p>(2)児童の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <p>第5学年における言語活動</p> <p>第6学年における言語活動</p> <p>○言語材料の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で扱った。表現等を繰り返し扱う。その際、外国語活動と異なる場面で活用するなど、スパイラルに何度も扱うことに留意する。 <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 場面や状況に依拠して聞くこと・話すこと 文字の認識、単語の識別 	<p>○言語活動</p> <p>「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能について言及</p> <p>→英語を理解し、英語で表現できる実践的な運用能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる。</p> <p>○言語活動の取扱い</p> <p>「内容に踏み込んだ言語活動を重視」することに言及</p> <p>○言語材料の取扱い</p> <p>→小学校で扱った語、表現等は、中学校においても繰り返し扱う。その際、小学校とは異なる場面で使ったり、別の意味で活用したりするなど、スパイラルに何度も扱い直すことに留意する。</p> <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 4技能のバランスよい育成 内容に踏み込んだ言語活動 	<p>第2款の第1から第4に示すリスニング、スピーキング、リーディング及びライティングの各技能に係る目標を達成するため、生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、言語活動を英語で行う。</p> <p>(必履修科目の例)</p> <p>○言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを整理したり、概要や要点をとらえたりする。 説明や物語を読んで、情報や考えなどを整理したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 日常的な話題や自分の関心のある分野について、まとまった内容のスピーチやプレゼンテーションをしたり、簡単なディベートやディスカッションをしたりする。 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。 <p>○言語活動を効果的に行うための配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 要点を整理し、関連情報や具体例などを付け加えながら、聞き手が理解しやすいように話すこと。 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。 <p>○内容の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校におけるコミュニケーション能力の基礎及び中学校におけるコミュニケーション能力を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 4技能のバランスよい育成 言語活動の高度化(発表、討論、交渉など) 		
		現行	<p>1.外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。</p> <p>(1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。</p> <p>(2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。</p> <p>(3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。</p> <p>2.日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。</p> <p>(1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさ気付くこと。</p> <p>(2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。</p> <p>(3) 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めること。</p>	<p>(1) 言語活動</p> <p>(2) 言語活動の取扱い</p> <p>3学年を通じた指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの考えや気持ちを伝え合う活動の設定 具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考える 取り上げる言語の使用場面や言語の働き <p>生徒の学習段階を考慮して第1学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <p>外国語活動を通じて積極的な態度などの一定の素地が育成されることを踏まえる</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>(4) 言語材料の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 発音と綴りを関連づけた指導 文法と言語活動を効果的に関連付けた指導 日本語との違いに留意した指導 	<p>○「コミュニケーション英語基礎」、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」及び「英語会話」</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(2) 言語活動を効果的に行うための配慮事項</p> <p>○英語に関する各科目に共通する内容等</p> <p>1 英語に関する各科目の2の(1)に示す言語活動を行うに当たっては、例えば、次に示すような言語の使用場面や言語の働きの中から、各科目の目標を達成するのにふさわしいものを適宜取り上げ、有機的に組み合わせて活用する。</p> <p>[言語の使用場面の例]、[言語の働きの例]</p> <p>2 英語に関する各科目の2の(1)に示す言語活動を行うに当たっては、中学校学習指導要領第2章第9節第2の2の(3)及び次に示す言語材料の中から、それぞれの科目の目標を達成するのにふさわしいものを適宜用いて行わせる。その際、「コミュニケーション英語Ⅰ」においては、言語活動と効果的に関連付けながら、ウに掲げるすべての事項を適切に取り扱うものとする。</p> <p>ア 語、連語及び慣用表現 イ 文構造のうち、運用度の高いもの ウ 文法事項</p> <p>3 2に示す言語材料を用いるに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>ア 現代の標準的な英語 イ 文法は言語活動と効果的に関連付けて指導</p> <p>ウ 語句や文構造、文法事項は実際に活用できるよう指導</p> <p>4 英語に関する各科目については、その特質にかんがみ、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮するものとする。</p>		
		改善例	<p>○高学年における外国語との関連に留意して、指導計画を適切に作成するものとする。</p> <p>○指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を取り扱うことを原則 学年ごとの適切な目標設定 言語や文化に関する内容とコミュニケーションに関する内容と関連づけた指導 指導内容や活動の設定 学級担任等の役割、指導体制の充実 教材等 道徳の時間などとの関連 <p>2.第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 2学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの場面設定 言葉によらないコミュニケーションの手段 言葉によらないコミュニケーションの手段 言語や我が国の文化についての理解 コミュニケーションの場面やコミュニケーションの働き <p>(2) 児童の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第5学年における活動 第6学年における活動 <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語活動を踏まえた指導計画の作成 	<p>○中学校における外国語との関連に留意して、指導計画を適切に作成するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を取り扱うことを原則 学年ごとの適切な目標設定 言語や文化に関する内容とコミュニケーションに関する内容と関連づけた指導 指導内容や活動の設定 等 <p>2.第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 2学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの場面設定 言葉によらないコミュニケーションの手段 国語や我が国の文化についての理解 コミュニケーションの場面やコミュニケーションの働き <p>(2) 児童の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第5学年における活動 第6学年における活動 <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語活動を踏まえた指導計画の作成 	<p>○小学校における外国語活動、外国語及び高等学校における外国語との関連に留意して、指導計画を適切に作成するものとする。</p> <p>○教材については、日本人としてのアイデンティティに関する教育の充実(伝統文化・歴史の重視等)に言及</p> <p>○授業は英語で行うことを基本とする。</p> <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校外国語活動、外国語を踏まえた指導計画の作成 高等学校外国語と関連した指導計画の作成 英語で行うことを基本とする授業 生徒の英語による言語活動が中心の授業 	<p>○指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1の目標に示す4技能に係る目標に基づき、各学校において学習到達目標を設定すること。 各学校においては、生徒や地域の実態に応じて、3学年間全体を見通した上で、学年ごとの学習到達目標を外国語を用いて何ができるようになるかという観点から定めること。 小学校における外国語活動と外国語及び中学校における外国語との関連に十分留意して、指導計画を適切に作成すること。 各科目の指導計画の作成に当たっては、各科目の目標や内容等に応じた指導や評価の方法について、学校で共通の体制を構築すること。 学校における学習が、生涯にわたって、自ら外国語を学び、実際にコミュニケーションの場面で使おうとする動機付けに結び付くものとなるようにすること。 <p>○言語材料を用いるに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行うために必要となる語句や文構造等の取扱いについては、用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し、言語の使用場面や言語の働きに即して実際に活用できるようにすること。 英語に関する各科目については、その特質にかんがみ、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるとともに、生徒の英語による言語活動が授業の中心となるよう十分配慮するものとする。 <p>○内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書の活用の指導などを通じ、自ら積極的に外国語を学び、コミュニケーションの場面で使おうとする態度を育てるようにすること。 ペア・ワークやグループ・ワークなどを積極的に取り入れ、生徒が実際に外国語を用いてコミュニケーションを行う場を十分確保すること。 <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 「4技能に係る目標」に基づく各学校における学習到達目標の設定 外国語を用いて何ができるようになるかという観点からの学習到達目標の設定(3年間全体、各学年) 小学校における外国語活動と外国語及び中学校における外国語と関連した指導計画の作成 指導及び評価における共通指導体制の構築 生涯にわたって外国語を学んでいく動機付けとしての学校における学習 言語の使用場面や言語の働きに即した言語材料の活用 英語で行うことを基本とする授業 生徒の英語による言語活動が中心の授業 	
現行	<p>1.指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を取り扱うことを原則 適切な目標設定 言語や文化に関する内容の指導とコミュニケーションに関する内容との関連 指導内容や活動の設定 等 <p>2.第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 2学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <p>ア コミュニケーションの場面設定</p> <p>イ アルファベットなどの文字や単語の取扱い</p> <p>ウ 言葉によらないコミュニケーションの手段</p> <p>エ 国語や我が国の文化</p> <p>オ コミュニケーションの場面やコミュニケーションの働き</p> <p>(2) 児童の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <p>ア 第5学年における活動</p> <p>イ 外国語を初めて学習することに配慮し、児童に身近で基本的な表現を使いながら、外国語に慣れ親しむ活動や児童の日常生活や学校生活にかかわる活動を中心に、友達とかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を行うようにすること。</p> <p>イ 第6学年における活動</p> <p>第5学年の学習を基礎として、友達とかかわりを大切にしながら、児童の日常生活や学校生活に加え、国際理解にかかわる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を行うようにすること。</p>	<p>1.小学校における外国語活動との関連に留意して、指導計画を適切に作成するものとする。</p> <p>2.外国語科においては、英語を履修させることを原則とする。</p> <p>3.第1章総則の第1の2及び第3章道徳の第1に示す道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道徳の第2に示す内容について、外国語科の特質に応じて適切な指導をすること。</p>	<p>1.指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1)「コミュニケーション英語Ⅱ」は「コミュニケーション英語Ⅰ」を履修した後に、「コミュニケーション英語Ⅲ」は「コミュニケーション英語Ⅱ」を履修した後に、「英語表現Ⅱ」は「英語表現Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とすること。</p> <p>(2)「コミュニケーション英語基礎」を履修させる場合、「コミュニケーション英語Ⅰ」は「コミュニケーション英語基礎」を履修した後に履修させることを原則とすること。</p> <p>2.内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1)教材については、外国語を通してコミュニケーション能力を総合的に育成するため、各科目の目標に応じ、実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮したものを取り上げるものとする。その際、その外国語を日常使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるものとし、次の観点に留意する必要があること。</p> <p>ア 多様なものの見方や考え方を理解し、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。</p> <p>イ 外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。</p> <p>ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。</p> <p>エ 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。</p> <p>(2) 音声指導の補助として、発音表記を用いて指導することができること。</p> <p>(3) 辞書の活用の指導などを通じ、生涯にわたって、自ら外国語を学び、使おうとする積極的な態度を育てるようになること。</p> <p>(4) 各科目の指導に当たっては、指導方法や指導体制を工夫し、ペア・ワーク、グループ・ワークなどを適宜取り入れたり、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを適宜指導に生かしたりすること。また、ネイティブ・スピーカーなどの協力を得て行うティーム・ティーチングなどの授業を積極的に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力を育成するとともに、国際理解を深めるようにすること。</p>				

「外国語」等における小・中・高等学校を通じた国の指標形式の目標（イメージ） たたき台

複数の技能を統合的に扱う言語活動を通して求められる英語力を身に付ける

校種	CEFR レベル	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
高等学校	B2	<ul style="list-style-type: none"> 母語話者同士による多様な話題の長い会話を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、話の展開を理解できるようにする。 自然な速さで話される時事問題や社会問題に関する長い説明を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 ある程度知識のある社会問題や時事問題に関するラジオ番組やテレビ番組を視聴して、概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関心のある分野の記事や資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 興味のある現代小説や随筆を読んで、概要を理解することができるようにする。 時事問題や社会問題に関する記事やレポート、資料を読んで、概要や要点、筆者の姿勢や視点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い話題に関する会話に参加し、情報や自分の意見などを適切かつ流暢に表現することができるようにする。 知識のある時事問題や社会問題について、幅広い表現を用いて議論することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い話題について、即興で、説明したり自分の考えや気持ちなどを話したりすることができるようにする。 幅広い分野のテーマについて、明瞭かつ詳細な説明をすることができる。 多様な考え方ができる時事問題や社会問題について、様々な見方の長所・短所を示すとともに、自分の意見を幅広い表現を用いて論理的に説明することができるようにする。 聴衆の反応に応じて、発表の内容や方法を調整することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関心のある分野のテーマについて、事実や情報などを明確かつ詳細に伝える説明文を書くことができるようにする。 時事問題や社会問題など幅広い話題に関する記事や資料を読んで、その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。 時事問題や社会問題など幅広い話題について、得た情報を活用しながら、自分の意見やその理由を論理的に書くことができるようにする。 Eメール、エッセイ、レポートなどを、それぞれの用途に合った文体で書くことができるようにする。
	B1	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 比較的ゆっくりはっきりと話されれば、時事問題や社会問題に関する短い平易な説明を聞いて、要点を理解することができるようにする。 比較的ゆっくりはっきりと話されれば、馴染みのある話題を扱ったラジオ番組やテレビ番組を視聴して、要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題に関する比較的短い記事やレポート、資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 短い物語を読んで、あらすじを理解することができるようにする。 社会的な話題に関する短い会話や説明を読んで、概要や要点を理解できるようにする。 英語学習を目的として書かれた記事やレポートを読んで、概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共の場所（店、駅など）において、自分の問題を説明し、解決することができるようにする。 身近な話題や興味関心のある事柄について、準備をしないで会話に参加することができるようにする。 身近な話題や知識のある話題について、簡単な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明することができるようにする。 身近な話題や関心のある事柄について、まとまりのある内容を話すことができるようにする。 関心のある分野のテーマに関する記事やレポート、資料の概要や要点を説明することができるようにする。 知識のある時事問題や社会問題について、内容を具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や身近な事柄について、複数のパラグラフから成る説明文を書くことができるようにする。 関心のある分野のテーマに関する記事や資料を読んで、その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。 関心のある分野のテーマについて、まとまりのある文章で具体的に説明するとともに、自分の意見やその理由を加えて書くことができるようにする。
	A2	<ul style="list-style-type: none"> 短い簡単なメッセージやアナウンスを聞いて、必要な情報を読み取ることができるようにする。 身近な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 ゆっくりはっきりと話されれば、身近な事柄に関する短い説明の要点を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において身の回りにある短い平易なテキストから、必要な情報を読み取ることができるようにする。 平易な英語で書かれた短い物語を読んで、あらすじを理解できるようにする。 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明や手紙を読んで、概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができるようにする。 身近な話題や興味関心のある事柄について、ある程度準備をすれば、会話に参加することができるようにする。 身近な話題について、簡単な英語を用いて簡単な意見交換をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 身近な話題や関心のある事柄について、簡単な説明をすることができるようにする。 身近な話題について、自分の意見やその理由を簡単に話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が必要とする事柄について、短い簡単なメモやメッセージなどを書くことができるようにする。 身近な事柄について、簡単な語句や表現を用いて、短い説明文を書くことができるようにする。 聞いたり読んだりした内容について、自分の意見や感想を書くことができるようにする。
中学校	A1	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。 日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができるようにする。 ゆっくりはっきりと話されれば、身の回りの事柄に関する平易でごく短い会話や説明を、視覚情報などを参考にしながら理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において身の回りにある英語の中の語句や単純な文を理解できるようにする。 平易な英語で書かれたごく短い物語を読んで、視覚情報などを参考にしながら、あらすじを理解することができるようにする。 身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、視覚情報などを参考にしながら、概要を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の発話を理解できない場合など、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができるようにする。 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、ごく身近な話題について、簡単な表現を使って質疑応答をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な語句や文を用いて、自分について話すことができるようにする。 日常生活において必要となる基本的な情報を伝えることができるようにする。 ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に関するごく限られた情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。 ごく身近な事柄について、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。
	(Pre-A1)	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの発音を聞いて、どの文字であるかがわかるようにする。 挨拶や短いごく簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。 ゆっくりはっきりと、繰り返し話されれば、自分に関することや身近で具体的な事柄を表わすごく簡単な語句や文を聞き取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの文字を識別し、発音することができるようにする。 音声で十分に慣れ親しんだ、ごく身近で具体的な事柄を表わす単語を見て、その意味を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶やごく短い簡単な指示に回答することができるようにする。 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、自分に関することについてごく簡単な質問に答えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 定型表現を用いて、簡単な挨拶をすることができるようにする。 自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの大字と小文字を活字体で書くことができるようにする。 例文を参考にしながら、音声などで十分慣れ親しんだ語句や文を書き写すことができるようにする。
小学校						

※CEFRとは、シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集のために、透明性が高く分かりやすく参照できるものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表。

聞くこと					
	A1	A2	B1	B2	
(参考) CEFR 自己評価表	はっきりとゆっくりと話してもらえれば、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	(ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの) 直接自分に関連した領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。	長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。たいていのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。標準語の映画なら、大多数は理解できる。	
想定される 学校種・教科、科目等	小学校中学年・外国語活動 + 小学校高学年・外国語	小学校高学年・外国語 + 中学校・外国語	中学校・外国語 + 高等学校・外国語、必修科目	高等学校・外国語、選択科目	(高等学校・外国語、選択科目 + 専門教科、英語 等)
国の指標形式の 主な目標	<ul style="list-style-type: none"> □アルファベットの発音を聞いて、どの文字であるかがわかるようにする。 □挨拶や短いごく簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。 □ゆっくりははっきりと、繰り返し話されれば、自分に関することや身近で具体的な事物を表わすごく簡単な語句や文を聞き取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> □挨拶や簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。 □日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができるようにする。 □ゆっくりははっきりと話されれば、身の回りの事柄に関する平易でごく短い会話や説明を、視覚情報などを参考にしながら理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> □短い簡単なメッセージやアナウンスを聞いて、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 □身近な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 □ゆっくりははっきりと話されれば、身近な事柄に関する短い説明の要点を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> □身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 □比較的ゆっくりははっきりと話されれば、時事問題や社会問題に関する短い平易な説明を聞いて、要点を理解することができるようにする。 □比較的ゆっくりははっきりと話されれば、馴染みのある話題を扱ったラジオ番組やテレビ番組を視聴して、要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> □母語話者同士による多様な話題の長い会話を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 □身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、話の展開を理解できるようにする。 □自然な速さで話される時事問題や社会問題に関する長い説明を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 □ある程度知識のある社会問題や時事問題に関するラジオ番組やテレビ番組を視聴して、概要や要点を理解することができるようにする。
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベットの発音の識別 ○挨拶や短いごく簡単な指示の理解と反応 ○自分に関することや身近で具体的な事物を表すごく簡単な語句や文の聞き取り など 	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶や簡単な指示の理解と反応 ○日常生活における基本的な情報の理解 ○身の回りの事柄に関する平易でごく短い会話や説明における必要な情報の聞き取り など 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人的な事柄に関する短い簡単なメッセージの理解と反応 ○簡単なアナウンスからの情報取得 ○身の回りの事柄に関する平易で短い会話や説明の概要・要点理解 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話の概要・要点理解 ○時事問題や社会問題に関する短い平易な説明からの情報取得 ○馴染みのある話題を扱ったラジオ番組やテレビ番組の要点理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な話題の長い会話の概要・要点理解 ○複雑な議論における話の展開や論点の理解 ○時事問題や社会問題に関する説明の概要・要点理解 ○ある程度知識のある話題のラジオ番組やテレビ番組の概要・要点理解 など
言語の働きの例	<ul style="list-style-type: none"> 〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など 〈気持ちを伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など 〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など 〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など 〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など 				
言語活動の例 (共通話題： フェアトレード)	国名と食品名を表す単語を聞いて、それらを表すイラストと結び付けるとともに、国名とその国で生産量が多いと思われる食品名とを結び付ける。	イラストや写真を参考にしながら、お茶、コーヒー、綿などの農産品の主な生産国と生産者の収入に関する説明を聞いて、得た情報を表にまとめる。	サッカーボールの生産事情(生産国や生産者など)に関する説明を聞いて、その歴史や問題点を整理するとともに、日常生活においてフェアトレードが必要な他の製品に関する説明を聞いたたり読んだりしてさらに情報を得る。	日本におけるフェアトレード市場の歴史、現状、課題に関する説明を聞いて、必要な情報を得るとともに、それに基づいて、日本におけるフェアトレード市場拡大のためにどのような方策が有効であるかについて意見を出し合う。	自国のフェアトレード市場について話している会話を聞いて、各話者の国に関する情報を整理するとともに、国民一人当たりの認証製品購入額が高い国々の状況に関する説明を読んだ上で、日本においてフェアトレード市場を拡大するための方策についてプレゼンテーションを行う。

各言語活動に応じた言語の働きを適宜選択

作成中

「話すこと（やりとり）」

話すこと（やりとり）								
(参考) CEFR 自己評価表	A1		A2		B1		B2	
		相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えたりしてくれて、また自分が言いたいことを表現するのに助け船を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。	単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合える。	通常の会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。	当該言語圏の旅行中に最も起こりやすいたいいてい状況に対処することができる。	例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。	流暢に自然に会話をすることができ、母語話者と普通にやり取りができる。	身近なコンテキストの議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。
想定される 学校種・教科（科目）等	小学校中学年・外国語活動 ＋ 小学校高学年・外国語	小学校高学年・外国語 ＋ 中学校・外国語	中学校・外国語 ＋ 高等学校・外国語（必修科目）	高等学校・外国語（選択科目）	高等学校・外国語（選択科目） ＋ 専門教科英語 等			
国の指標形式の 主な目標	<input type="checkbox"/> 挨拶やごく短い簡単な指示に回答することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、自分に関することについてごく簡単な質問に答えることができるようにする。	<input type="checkbox"/> 相手の発話を理解できない場合など、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、ごく身近な話題について、簡単な表現を使って質疑応答をすることができるようにする。	<input type="checkbox"/> 日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやり取りをすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や興味関心のある事柄について、ある程度準備をすれば、会話に参加することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題について、簡単な英語を用いて簡単な意見交換をすることができるようにする。	<input type="checkbox"/> 公共の場所（店、駅など）において、自分の問題を説明し、解決することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や興味関心のある事柄について、準備をしないで会話に参加することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や知識のある話題について、簡単な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。	<input type="checkbox"/> 幅広い話題に関する会話に参加し、情報や自分の意見などを適切かつ流暢に表現することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 知識のある時事問題や社会問題について、幅広い表現を用いて議論することができるようにする。			
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> ごく簡単な質疑応答 など ・初対面の人や知り合いと簡単な挨拶を交わす。 ・ごく短い簡単な指示に応じる。 ・自分に関するごく簡単な質問に答えたり、相手についてごく簡単な質問をしたりする。	<input type="checkbox"/> 簡単な表現を用いた質疑応答 <input type="checkbox"/> 簡単な情報交換 など ・ごく身近な話題について、簡単な質問をしたり簡単な質問に答えたりする。 ・ごく身近な話題について、自分の思いや自分が知っていることなどを伝え合う。	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いた短い会話 <input type="checkbox"/> 簡単な意見交換 など ・身近な話題について、ある程度準備をした上で、短い会話をする。 ・身近な話題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、ある程度準備をした上で、得た情報や自分の考えや気持ちなどを伝え合う。	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いたディベート <input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いたディスカッション など ・身近な話題の会話において、準備をしないで自分の考えや気持ちなどを表現する。 ・身近な暮らしにかかわる多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 ・身近な話題や知識のある時事問題や社会問題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や自分の意見などを述べ合うとともに、相手の発話について質問したり意見を述べたりする。	<input type="checkbox"/> 幅広い表現を用いたディベート <input type="checkbox"/> 幅広い表現を用いたディスカッション など ・幅広い話題の会話や議論において、適切に発言の機会を獲得して情報や自分の意見などを表現する。 ・幅広い話題の会話や議論において、人の発言を誘ったり、相手や自分の理解を確認したり、話を展開・発展させたりする。 ・時事問題や社会問題など幅広い話題の議論において、聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や自分の意見などを適切かつ流暢に表現するとともに、互いの発言を検討し、課題の解決に向けて考えを生かし合う。			
	言語の働きの例	〈コミュニケーションを円滑にする〉 〈気持ち伝える〉 〈情報を伝える〉 〈考えや意図を伝える〉 〈相手の行動を促す〉	・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・申し出る ・賛成する ・反対する ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など	・話題を発展させる ・話題を変える など ・驚く ・心配する など ・要約する ・訂正する など ・推論する ・仮定する など	・各言語活動に応じた言語の働きを適宜選択			
言語活動の例 (共通話題：食)	食べ物の好き嫌いについて、尋ねたり答えたりする。	食べ物の好き嫌いについて、理由なども含めて互いに質疑応答する。また、相手から得た情報を他者に伝える。	健康な食生活を送るために大切だと思うことや食の安全に関して留意していることについて、ある程度の準備をした上で簡単な意見交換をする。	遺伝子組換え食品に関する議論を賛成・反対の立場に分けて整理し、得た情報を交換するとともに、遺伝子組換え食品の是非についてディベートを行う。	遺伝子組換え食品に関する幅広い議論をリサーチ・整理し、それに基づいて、今後の市場における遺伝子組換え食品の在り方についてディスカッションを行う。			

作成中

「話すこと（発表）」

話すこと（発表）								
（参考） CEFR 自己評価表	A1		A2		B1		B2	
		どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語ることができる。意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。物語を語ったり、本や映画のあらすじを話し、またそれに対する感想・考えを表現できる。	自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。			
想定される 学校種・教科（科目）等	小学校中学年・外国語活動 ＋ 小学校高学年・外国語		小学校高学年・外国語 ＋ 中学校・外国語		中学校・外国語 ＋ 高等学校・外国語（必修教科目）		高等学校・外国語（選択科目） ＋ 専門教科英語 等	
国の指標形式の 主な目標	<input type="checkbox"/> 定型表現を用いて、簡単な挨拶をすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 簡単な語句や文を用いて、自分について話すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 日常生活において必要となる基本的な情報を伝えることができるようにする。 <input type="checkbox"/> ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や関心のある事柄について、簡単な説明をすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題について、自分の意見やその理由を簡単に話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題や関心のある事柄について、まとまりのある内容を話すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 関心のある分野のテーマに関する記事やレポート、資料の概要や要点を説明することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 知識のある時事問題や社会問題について、内容を具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 幅広い話題について、即興で、説明したり自分の考えや気持ちなどを話したりすることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 幅広い分野のテーマについて、明瞭かつ詳細な説明をすることができる。 <input type="checkbox"/> 多様な考え方ができる時事問題や社会問題について、様々な見方の長所・短所を示すとともに、自分の意見を幅広い表現を用いて論理的に説明することができるようにする <input type="checkbox"/> 聴衆の反応に応じて、発表の内容や方法を調整することができるようにする。			
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<input type="checkbox"/> 簡単な挨拶 <input type="checkbox"/> 簡単な語句や文を用いた自分に関する情報など	<input type="checkbox"/> 簡単な語句や文を用いた自己紹介 <input type="checkbox"/> 日常生活における基本的な情報 <input type="checkbox"/> ごく身近な事柄についての短い簡単なスピーチ など	<input type="checkbox"/> 身近な事柄についての説明（即興、準備あり） <input type="checkbox"/> 身近な話題に関する短いスピーチ など	<input type="checkbox"/> 身近な事柄についての説明やスピーチ（即興、準備あり） <input type="checkbox"/> 記事、資料などの概要・要点説明 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関するプレゼンテーション など	<input type="checkbox"/> 幅広い話題についての説明やスピーチ（即興、準備あり） <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関するプレゼンテーション <input type="checkbox"/> 話す速度や使用する表現の調整 など			
	<ul style="list-style-type: none"> 初対面の人や知り合いに簡単な挨拶をする。 自分の名前、年齢、好き・嫌い、興味のあることなどを、簡単な語句や文を用いて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な語句や文を用いて、自分の趣味や特技などを含めた自己紹介をする。 時刻、日時、場所など、日常生活における基本的な情報を伝える。 ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちを含めて短い簡単なスピーチをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に関することや身の回りのことについて、簡単な語句や文を用いて即興で説明する。 自分や友人、学校生活などの身近な事柄や出来事に関する情報を伝える。 身近な話題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、自分の意見・主張やその理由を含めて短いスピーチをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分、友人、学校生活、地域社会などの身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明する。 身近な話題や関心のある事柄について、関連情報や具体例などを加えながら、まとまりのあるスピーチをする。 関心のある分野のテーマに関する記事やレポート、資料などを読んで、伝えるべき事項を整理した上で、概要や要点を発表する。 時事問題や社会問題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、自分の意見・主張やその理由を論理的に伝えるプレゼンテーションをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い話題について、即興で、概要を説明したり自分の考えや気持ちなどを話したりする。 幅広い分野のテーマについて、関連情報や具体例などを加えながら、明瞭かつ詳細なスピーチをする。 多様な考え方ができる時事問題や社会問題について、聞いたり読んだりしたことに基づいて情報を整理し、様々な見方の長所・短所を示しながら自分の意見・主張やその理由を論理的に伝えるプレゼンテーションをする。 聴衆の反応や理解度を確認しながら話し、必要に応じて、話す速度や使用する表現などを変える。 			
言語の働きの例	〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など 〈気持ちを伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など 〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など 〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など 〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など							
言語活動の例 (共通話題： 職業、職業選択)	興味のある職業や将来就きたいと思っている職業を伝える。	将来就きたいと思っている職業とその理由、その職業が具体的にどのような仕事をするかなどについて、準備をした上で簡単に発表する。	日本では認知度が低い職業、その分野で活躍している国内外の人物などについて読んで情報をまとめ、アウトラインを作成した上で発表する。また、発表内容に関する質問に答える。	将来の職業選択において重要視したい条件とその理由を具体的に説明するとともに、ワークライフバランスなどの視点も含め、どのような社会生活を理想と考えるかについてプレゼンテーションを行う。また、プレゼンテーションの内容について質疑応答を行う。	職場で起こり得る勤務上の問題（勤務体系、業務量、業務分担など）について、グループごとに与えられた立場（社員、上司など）から解決策を出し合い、互いが合意できる結論をまとめて発表する。また、各グループからの発表を踏まえ、課題解決型のロール・プレイを行う。			

各言語活動に応じた言語の働きを適宜選択

作成中

「読むこと」＋言語活動における他教科との連携（例）

読むこと								
(参考) CEFR 自己評価表	A1		A2		B1		B2	
		例えば、掲示やポスター、カタログの中をよく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。 簡単に短い個人的な手紙は理解できる。	非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。 起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。	筆者の姿勢や視点が表れている現代の問題についての記事や報告が読める。 現代文学の散文は読める。			
想定される 学校種・教科、科目等	小学校中学年・外国語活動 ＋ 小学校高学年・外国語	(小学校高学年・外国語) ＋ 中学校・外国語	中学校・外国語 ＋ 高等学校・外国語、必修科目	高等学校・外国語、選択科目	(高等学校・外国語、選択科目 ＋ 専門教科、英語 等)			
国の指標形式の 主な目標	<input type="checkbox"/> アルファベットの文字を識別し、発音することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 音声で十分に慣れ親しんだ、ごく身近で具体的な事物を表す単語を見て、その意味を理解できるようにする。	<input type="checkbox"/> 日常生活において身の回りにある英語の中の語句や単純な文を理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 平易な英語で書かれたごく短い物語を読んで、視覚情報などを参考にしながら、あらすじを理解することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、視覚情報などを参考にしながら、概要を理解することができるようにする。	<input type="checkbox"/> 日常生活において身の回りにある短い平易なテキストから、必要な情報を読み取ることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 平易な英語で書かれた短い物語を読んで、あらすじを理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明や手紙を読んで、概要や要点を理解できるようにする。	<input type="checkbox"/> 身近な話題に関する比較的短い記事やレポート、資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 短い物語を読んで、あらすじを理解することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 社会的な話題に関する短い会話や説明を読んで、概要や要点を理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 英語学習を目的として書かれた記事やレポートを読んで、概要や要点を理解できるようにする。	<input type="checkbox"/> 関心のある分野の記事や資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 興味のある現代小説や随筆を読んで、概要を理解することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関する記事やレポート、資料を読んで、概要や要点、筆者の姿勢や視点を理解できるようにする。			
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	<input type="checkbox"/> アルファベットの文字の識別（大文字・小文字を含む）と発音 <input type="checkbox"/> ごく身近で具体的な事物を表す単語の意味の理解 など	<input type="checkbox"/> 簡単な語句や単純な文の理解 <input type="checkbox"/> 平易でごく短い物語（視覚情報付）のあらすじ理解 <input type="checkbox"/> 平易でごく短い説明（視覚情報付）のスキミング など	<input type="checkbox"/> 平易で短いテキストのスキミング <input type="checkbox"/> 平易で短い物語のあらすじ理解 <input type="checkbox"/> 平易で短い説明のスキミング など	<input type="checkbox"/> 短い説明のスキミング <input type="checkbox"/> 短い物語のあらすじ理解 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関する平易な説明などのスキミングやスキミング など	<input type="checkbox"/> 幅広い話題を扱った英文のスキミングやスキミング <input type="checkbox"/> 現代小説や随筆の概要理解 <input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題に関する説明などのスキミングやスキミング、詳細理解 など			
	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字を見て、それが何かを識別する（大文字・小文字の識別を含む）。 ・アルファベットの文字を見て、適切に発音する。 ・音声で十分に慣れ親しんだ、ごく身近で具体的な事物を表す単語を見て、その意味を推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関連した身近な掲示、カタログ、パンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る。 ・平易な英語で書かれたごく短い物語を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、おおよそのあらすじを理解する。 ・友人、家族、学校生活などの身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、概要を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平易な表現が用いられている広告、パンフレット、予定表などから、自分が必要とする情報を得る。 ・平易な英語で書かれた短い物語を読んで、おおよそのあらすじを理解する。 ・友人、家族、学校生活などの身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれた短い説明を読んで、概要を理解する。 ・読んで得た情報やそれに関する意見を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い記事、レポート、資料などから、自分が必要とする情報を得る。 ・短い物語を読んで、あらすじを理解して、それを口頭で他者に伝える。 ・時事問題や社会問題について情報を得るために効果的な資料を自分で探し、それを読んで概要を理解する。 ・資料などを読んで得た情報や英語表現を、当該の話題に関するスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、エッセーライティングなどにおいて活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い話題を扱った記事、レポート、資料などから、自分が必要とする情報を得る。 ・比較的簡単な現代小説や随筆を読んで、概要を理解するとともに、あらすじや感想を簡単に書いてまとめる。 ・時事問題や社会問題について幅広く情報を得るために効果的な資料を自分で探し、必要となる情報の取得、概要理解、詳細理解など、目的に応じた読み方をする。 ・資料などを読んで得た情報や英語表現を、当該の話題に関するスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、エッセーライティングなどにおいて活用する。 			
言語の働きの例	〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など 〈気持ちを伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など 〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など 〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など 〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など							
言語活動の例 (共通話題： ユニバーサルデザイン)	公共交通手段や公共施設に関する単語を見て、単語とそれが表すイラストや写真とを結び付ける。	日本のユニバーサルデザインの具体例を紹介した説明を読んで、イラストや写真を参考にしながら概要を理解する。	海外のユニバーサルデザインの具体例を複数紹介した説明をグループで分担して読んで、自分が読んだ内容を他者に伝えるとともに、日本に取り入れた方がよいと思われるものについて、その理由などを含めて簡単な意見交換をする。	国内外のユニバーサルデザインが生かされた多様な事例について各自で資料を探して読んで、どのような人たちのために、どのような配慮がなされているかについて整理をした上で互いに情報を伝え合うとともに、今後どのようなユニバーサルデザインが必要となるかについて意見を出し合う。	国内外のユニバーサルデザインが生かされた多様な事例について各自で資料を探して読んで、そこから得た情報や英語表現を活用して、今後どのようなユニバーサルデザインが必要となるかについて、その理由なども含めて具体的なアイデアをまとめ、個人又はグループでプレゼンテーションを行う。			
言語活動における 他教科との連携（例）	[題材] 小学校「社会」「生活」	[題材] 小学校「社会」「生活」 中学校「社会」	[題材] 中学校「社会」 高等学校「公民」 [活動（意見交換）] 中学校「国語」 高等学校「国語」	[題材] 高等学校「公民」 [情報収集] 高等学校「情報」 [活動（意見交換）] 高等学校「国語」	[題材] 高等学校「公民」 [情報収集] 高等学校「情報」 [活動（プレゼンテーション）] 高等学校「国語」			

各言語活動に応じた言語の働きの適宜選択

作成中

「書くこと」

書くこと

(参考) CEFR 自己評価表		A1 新年の挨拶など短い簡単な葉書を書くことができる。 例えばホテルの宿帳に名前, 国籍や住所といった個人のデータを書き込むことができる。	A2 直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。 短い個人的な手紙なら書くことができる: 例えば礼状など。	B1 身近で個人的に関心のある話題について, つながりのあるテキストを書くことができる。 私信で経験や印象を書くことができる。	B2 興味関心のある分野内なら, 幅広くいろいろな話題について, 明瞭で詳細な説明文を書くことができる。 エッセイやレポートで情報を伝え, 一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。 手紙の中で, 事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。
想定される 学校種・教科, 科目等	小学校中学年・外国語活動 + 小学校高学年・外国語	小学校高学年・外国語 + 中学校・外国語	中学校・外国語 + 高等学校・外国語, 必履修科目	高等学校・外国語, 選択科目	(高等学校・外国語, 選択科目 + 専門教科, 英語 等)
国の指標形式の 主な目標	□アルファベットの大文字と小文字を活字体で書くことができるようにする。 □例文を参考にしながら, 音声などで十分慣れ親しんだ語句や文を書き写すことができるようにする。	□自分に関するごく限られた情報を, 簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。 □ごく身近な事柄について, 簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。	□自分が必要とする事柄について, 短い簡単なメモやメッセージなどを書くことができるようにする。 □身近な事柄について, 簡単な語句や表現や用いて, 短い説明文を書くことができるようにする。 □聞いたり読んだりした内容について, 簡単な語句や表現を用いて, 自分の意見や感想を書くことができるようにする。	□自分の経験や身近な事柄について, 複数のパラグラフから成る説明文を書くことができるようにする。 □関心のある分野のテーマに関する記事や資料を読んで, その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。 □関心のある分野のテーマについて, まとまりのある文章で具体的に説明するとともに, 自分の意見やその理由を加えて書くことができるようにする。	□関心のある分野のテーマについて, 事実や情報などを明確且つ詳細に伝える説明文を書くことができるようにする。 □時事問題や社会問題など幅広い話題に関する記事や資料を読んで, その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。 □時事問題や社会問題など幅広い話題について, 得た情報を活用しながら, 自分の意見やその理由を論理的に書くことができるようにする。 □Eメール, エッセイ, レポートなどを, それぞれの用途に合った文体で書くことができるようにする。
授業における主な 言語活動 (言語の使用場面の例)	○アルファベットの大文字・小文字 ○語間の区切りに留意した文(書き写し) など ・発音されたアルファベットの大文字・小文字を活字体で書く。 ・語と語の区切りに注意して, 身近な事柄に関するごく簡単な文を書き写す。	○符号や語間の区切りに留意した簡単な挨拶 ○自分に関する基本的な情報 ○慣れ親しんだ語句を活用したごく身近な事柄や出来事の説明 など ・符号や語と語の区切りに注意しながら, 定型表現を用いて, 簡単な挨拶文などを書く。 ・名前, 年齢, 趣味, 好き嫌いなど, 自分に関する基本的な情報を文で書く。 ・慣れ親しんだ語句を活用して, ごく身近な事柄や出来事, 自分の経験したことなどを説明する文を書くとともに, それを口頭で伝え合う。	○近況などを伝える短い簡単なはがきや手紙 ○身近な事柄に関する簡単な説明 ○平易で短い説明の要点のメモ, 意見・感想 など ・自分の近況, 相手への感謝や謝罪などを伝える短い簡単なはがきや手紙を, 定型表現を活用しながら書く。 ・自分, 学校, 地域などの身近な事柄について, 簡単な語句や表現を用いて複数の文を書くとともに, それを口頭で伝え合う。 ・平易で短い説明を聞いたり読んだりして, 要点をメモするとともに, その内容について, 簡単な語句や表現を用いて自分の意見や感想を書く。	○身近な事柄に関する説明 ○関心のあるテーマに関する記事や資料の要約 ○関心のあるテーマに関する説明と意見・理由 ○目的に応じたメモ, アウトライン, 原稿 など ・身近な事柄に関する説明文を, 文のつながりや文章全体の構成などに注意して書く。 ・関心のある時事問題や社会問題に関する記事や資料を読んで, 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら要約文を書く。 ・関心のある時事問題や社会問題の内容を具体的に伝える説明文を書くとともに, 賛否を明確にしながら, 自分の意見やその理由を書く。 ・書いた文章を読み返し, 表現や文法の適切さなどに留意して推敲する。 ・目的に応じてメモ, アウトライン, 原稿を書き, それらを活用してスピーチ, プレゼンテーション, ディベート, ディスカッションなどを行う。	○関心のあるテーマについての詳細な説明 ○幅広い話題に関する記事や資料の要約 ○幅広い話題に関する説明と意見・理由 ○目的に応じたメモ, アウトライン, 原稿 など ・関心のある分野のテーマについて, 明確に事実を解説したり情報を伝えたりする詳細な説明文を書く。 ・時事問題や社会問題など幅広い話題に関する記事や資料を読んで, 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら要約文を書く。 ・時事問題や社会問題など幅広い話題について, 様々な考え方を整理しながら明確に書いて伝えるとともに, 自分の意見や主張及びその理由を論理的に組み立てた論説を書く。 ・書いた文章を読み返し, 論点や根拠の明確さ, 表現や文法の適切さなどに留意して推敲する。 ・目的に応じてメモ, アウトライン, 原稿を書き, それらを活用してスピーチ, プレゼンテーション, ディベート, ディスカッションなどを行う。
言語の働きの例	<p>〈コミュニケーションを円滑にする〉 ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など</p> <p>〈気持ちを伝える〉 ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など</p> <p>〈情報を伝える〉 ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など</p> <p>〈考えや意図を伝える〉 ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など</p> <p>〈相手の行動を促す〉 ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など</p> <p style="text-align: right;">各言語活動に応じた言語の働きを適宜選択</p>				
言語活動の例 (共通話題: 日常生活・時間の有効活用)	日常生活における人の行動を表すイラストや写真と英語表現とを結び付け, 学習した単語や文を書き写す。	自分が平日及び週末にふだん何をしているかについて説明する文を書き, グループで伝え合う。	時間があればしてみたいと思うことや挑戦してみたいことを, その理由とともに説明する複数の文を書き, 発表する。	サマータイムを導入している国々におけるその効果や課題に関する複数の資料を読んで, 得た情報を書いて要約するとともに, それを口頭で相手に伝える。	日本でサマータイムを導入した場合に予想されるメリット・デメリットについて, 資料を活用しながら自分の意見を書き, 日本にサマータイムを導入すべきかどうかについて, グループでディスカッションを行う。